



# 棚底地区スポーツ大会の日程変更について

9月5日(日)に予定していました棚底地区スポーツ大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止や熱中症等の観点から選手、役員の方々の健康や安全面を考慮し、**9月26日(日)に延期**することになりました。予め予定されていました皆さんには、大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解の程よろしくお願い致します。

## 敬老会中止のお知らせ



9月26日に予定していました「棚底地区敬老会」は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないため今年度も中止することになりました。開催をお楽しみにされていた皆様には大変申し訳ありませんがご了承ください。

なお、敬老対象者の皆様には、後日、記念品をお届けしますのでお楽しみにお待ちしております。

## 第3回 教養講座「天草の自然歴史講座」(第1回) 「牛深出身、宇良田 唯を語る」

天草の自然と歴史を語る会 吉川 茂文氏

宇良田唯「について」は、今年1月にTKUで郷土偉人シリーズ「宇良田唯」が放送され、6日には、医療の発展に尽力した功績を称え、唯の胸像除幕式が熊本大薬学部であったばかりなのでテレビ等でご覧になられた方も多いと思う。講座では、郷土史研究を続けながら天草の自然と歴史を語る会、牛深歴史文化遺産の会に所属、またフォトスタジオ「平深カメラ」を経営され、宇良田唯「研究の第一人者」である吉川茂文先生が宇良田唯の業績や人物像などについて資料や写真を基に説明された。唯は、熊本薬学校を卒業後、医師を志し上京。医師開業試験に合格し、医者となり牛深などで開業。その後ドイツに留学したが、きっかけは当時、牛深に多かった眼病の存在が大きかったそうです。帰国後は、牛深、東京で開業。結婚を機に中国に渡り天津で「同仁病院」を創設。貧しい患者からは治療代をとらず、「医は仁術」の理想を実践されたと言われています。天草の片田舎から日本人女性初、西洋医学博士の学位号を取得された唯の医師としての志の高さ、功績の凄さに深く感銘しました。

### 棚底地区振興会

倉岳町棚底1786-4  
棚底地区  
コミュニティセンター  
Tel.64-3664  
fax63-7544

倉岳地区公民館の全体講座が「平深出身、宇良田唯を語る」(日本初の女性ヘッドクトル・メディツィーネ)と題して8月4日(水)棚底コミュニティセンター集會室で開催された。



袴をイメージした「宇良田唯女史顕彰碑」=牛深町船津の公園



唯の業績や人物像などについて説明される吉川先生=集會室

棚底地区振興会報  
アイラトピカスラ



【棚底城跡整備イメージ】

～整備検討委員会を開催します～

9月30日(木)に熊本市で今年度最初の史跡棚底城跡整備検討委員会を行います。会議はⅡ郭平面整備設計内容が主な議題となりますが、樹木伐採や道路工事についても報告します。また、令和になって実施した発掘調査の報告書や国指定10周年を記念した冊子の刊行など、これから続々と棚底城跡の魅力が発信されます。刊行したものは、コミュニティセンターや図書館に寄贈することになりますので、その際はお知らせいたします。お楽しみに！

(天草市文化課 宮崎)

棚底のちょっとした話 ⑪  
八代海を渡った移住

棚底地区のほとんどの家庭では、八代、人吉、球磨、さらには薩摩の大口、宮崎のえびの、小林方面などに遠い、近いの差はあるものの、親戚をお持ちかと思いません。また、一回も会ったことはないが、どうも薩摩に縁者がいるらしい・・・など。棚底地区内の空き地の側を通ると、「ここんしゃ、やつちれ(八代へ)行かした」あるいは、「まみや(球磨へ)なおらした」など聞くことがあります。現在では家族丸ごと他地区へ移住するとなると、大変な気がしますが、天草では江戸時代から移住が盛んだったようです。天草島原一揆以後、人口が増えすぎたり、さらに北薩地方の開発を目的に薩摩藩から移住の要請があったのも原因だったようです。

嘉永六年(一八五三)には、菱刈(現伊佐市)、真幸(現えびの市)などの北薩方面に天草から五三三人も移住しております。薩摩藩が各村毎の移住者名と家族数の記録を残しており、棚底村から四家族十二人が新天地に移られているようです。当時のことですから苗字が書かれておりませんが、以下の四家族です。

鎌助 三人 大口へ  
弥市 四人 大口へ  
庄吉 三人 加久藤へ  
太五郎 二人 加久藤へ

昔から、棚底いなまき浦これき宮田伝馬で魚釣り」と表現されるように、九州中のいなまきは棚底の人が打ったと言われているのですが、天草からはすでに三五〇年ぐらい前から球磨方面にむしる打ちに出かけていたことが分かっています。

私事で恐縮ですが、かつて、宮崎県のえびの市から歳川さんを始め数家族の方々が棚底の先祖の墓参りをしたいと来町されたことがありまして、他地区で歳川という姓はあまり聞いたことがありませんでしたので、驚いたことがありました。この方たちの先祖は安政年間(一八五四)の移住だったようで、公の記録に残されていない移住例がたくさんあったものと思われまして、移住先の球磨や薩摩には、天草の人たちが作ったという集落が今でも伝えられているそうです。

(三区 歳川 喜三生)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い地区コミセンの利用休止が9月12日まで延長されました。迷惑をお掛けしますがご理解とご協力の程、よろしくお願ひします。

振興会部会員必見!

主な行事予定

今月の石垣散策トイレ掃除当番

体育部会 毎週 火、土曜日  
倉岳小学校 毎週 木曜日

9月21日(火)～30日(木)

秋の全国交通安全運動

9月26日(日)棚底地区スポーツ大会

9月26日(日)敬老会(中止)

(コロナ禍のため変更になる場合あり)

今月の人口

高齢化率 50.60%

人口動静

	世帯数		人口	
	6月末	7月末	6月末	7月末
浦	279	279(0)	636	637(+1)
棚底	484	482(-2)	1,065	1,061(-4)
宮田	441	441(0)	946	948(+2)
合計	1,204	1,202(-2)	2,647	2,646(-1)